

オプトアウト文書（様式4）

患者様とご家族の方のお知らせ

「2019年度における大分県北3市の15歳未満救急搬送例の実態調査 —2009年度との比較— へのご協力依頼

【目的】

救急搬送にかかる時間の長さや、受け入れ医療機関が決まるまでの照会件数は、時に患者の生死にかかわることもあります。

大分県では2009年度に「おおいた地域医療支援システム構築事業（小児科分野の担当教授は是松聖悟）」が15歳未満の救急搬送の実態調査を実施しました。この際に外傷等における宇佐市の照会件数と、豊後高田市の病院までの搬送時間が大分県内の全市町村の中で多く／長く、その傾向は夜間・休日に顕著となることを見出されました。

今回、10年後の2019年度の大分下県北3市（中津市、宇佐市、豊後高田市）のデータをもとに、この10年間で、前述した課題が改善しているかを検討します。

なお、本研究は中津市立中津市民病院の倫理・治験審査委員会での承認を得て、中津市立中津市民病院病院長の許可を得ています。

研究場所：中津市立中津市民病院 小児科

研究時期：倫理委員会承認日より令和5年3月31日まで。

研究対象：2009年度と2019年度に中津市、宇佐市、豊後高田市で救急搬送された15歳未満（転院搬送は除きます）。

研究方法：各消防本部に保管されているデータから、日時、年齢、性別、急病か外傷等かの区別、119番通報時間、搬送までの医療機関の照会件数、搬送先医療機関、医療機関への収容時間を解析します。得られた結果は、市町村から一般に公表するとともに、医学学会での発表や医学雑誌への投稿をする予定です。

患者さんの個人情報（姓名等）の授受はありません。

診療情報は、国の定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い患者さんのプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護

法などの法律を遵守します。

本研究で得たデータの全ては鍵のかかる部屋で保管します。電子媒体を保存する場合はパスワード機能の付いた USB やパソコンで保管します。また、研究終了後 5 年後に紙媒体はシュレッダーで、電子データは完全削除します。

【患者さんの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来薬物などの開発につながり、利益が生まれる可能性があります。が、万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

【研究資金】

本研究においては、患者さんの費用負担はありません。

【利益相反について】

この研究は、上記の資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切用いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）は発生しません。

【研究の参加等について】

本研究へ診療情報を提供するかしないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に試料・診療情報を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの試料・診療情報は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

患者さんの診療情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、研究代表者（中津市立中津市民病院 小児科）の是松聖悟までお問い合わせ下さい。0979-22-2480（病院代表）：平日 9 時-17 時。

2020 年 6 月 29 日

中津市立中津市民病院
役職 副院長

氏名 是松聖悟. (研究代表者)

(平成30年11月21日改定)